

平成23年4月18日
四国地方整備局
土佐国道事務所

土佐PAスマートIC周辺の利便性が大幅に向上 ～ 開通一年後の利用状況と効果 ～

平成21年12月19日に、高知県内では初のスマートICとなる高知自動車道 土佐PAスマートICが開通しました。

この度、交通量調査、利用者等へのヒアリング調査の結果をもとに、土佐PAスマートICの「利用台数」、「開通による効果」について報告致します。

〈概要〉

1. 利用台数

開通1年目の累積交通量は約13万台(平成22年12月末現在)。

開通後は着実に利用者数が増加。

2. 開通による効果(利用者の声)

緊急医療、地域産業、日常生活等あらゆる面で、スマートIC開通メリットの声多数。

○高知方面への搬送時間が10分～20分程度短縮するとともに患者の負担軽減に寄与。

(土佐市消防本部)

○スマートIC周辺の果樹園への来訪者が増加。

(白木果樹園)

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「NO. 6防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

本資料は、土佐PAスマートIC地区協議会関係者のご協力を得て、土佐国道事務所が取りまとめたものです。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

副所長(改築) かみおき かつのり
上沖 勝則 (内線)204

○計画課長 たけしま だいすけ
竹島 大祐 (内線)261

1. 土佐PAスマートICの概要

○ 土佐PAスマートICは、平成21年12月19日(土)に開通

◆土佐PAスマートICの概要

(1)開通日

平成21年12月19日(土)

(2)利用時間帯

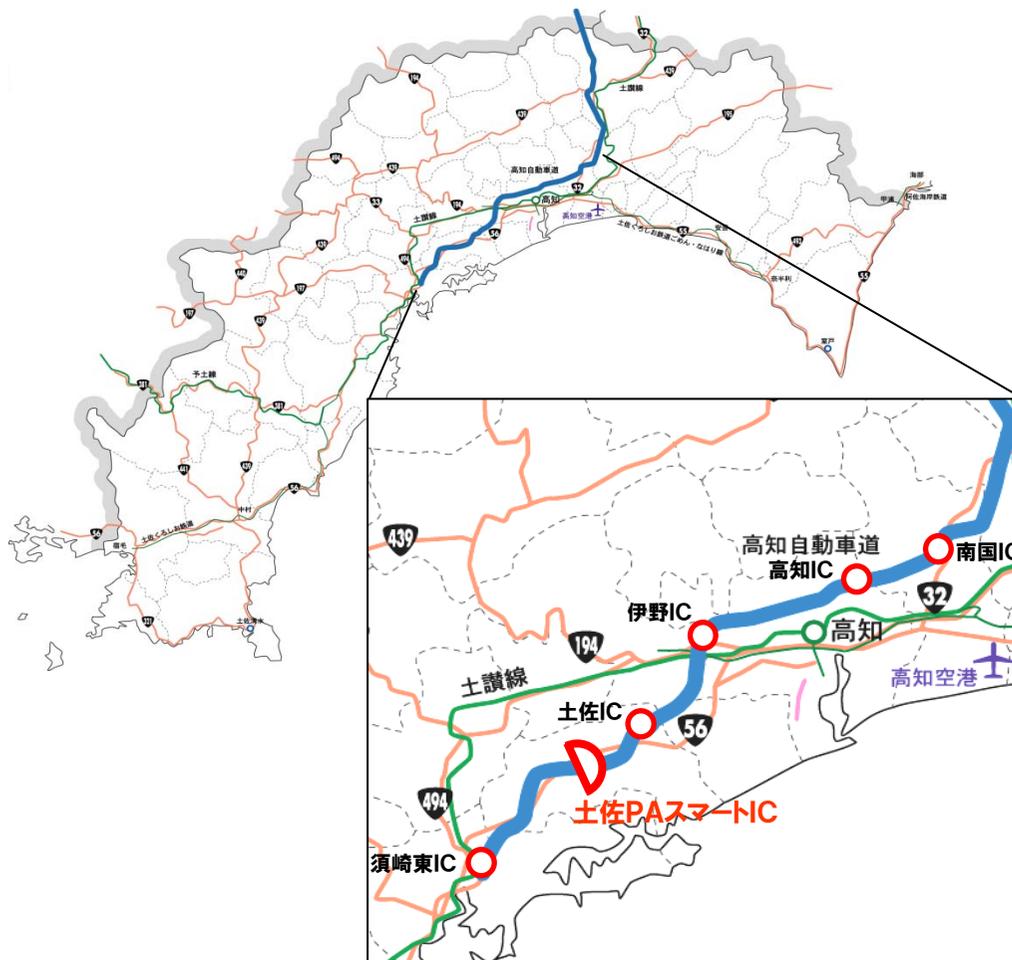
6:00~22:00

(3)対象車種

普通車(6m以下)、軽自動車、二輪車

(4)利用形態

- ①ETC搭載車専用
- ②高知市方面への出入のみの利用
- ③ETCゲートバー手前で一旦停止



◆調査概要

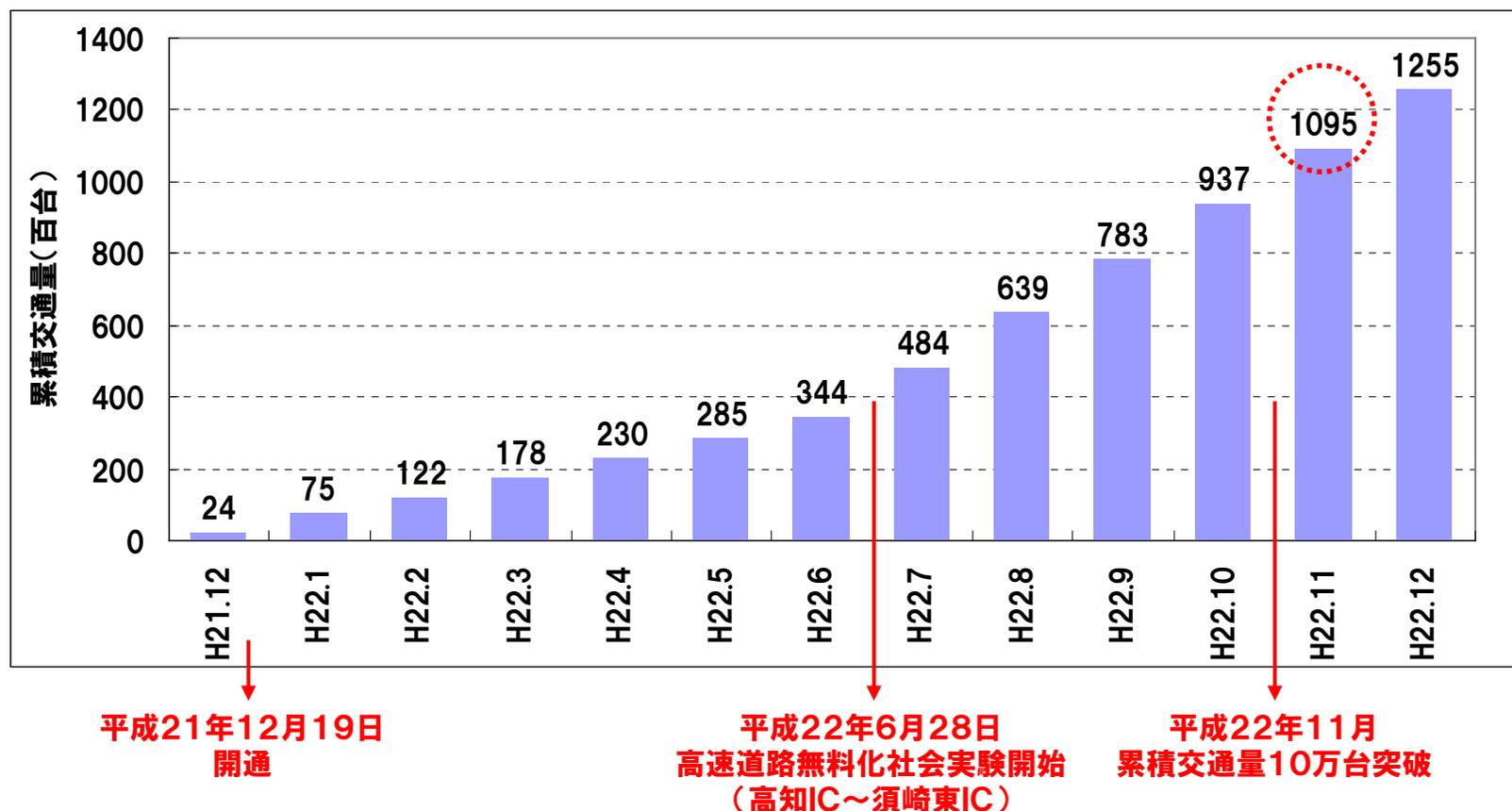
- 開通直後 :スマートIC利用者アンケート調査(平成22年2月16日(火)、平成22年2月21日(日))
- 開通一年后:スマートIC利用者アンケート調査/交通量・車籍地調査/ヒアリング調査(平成23年1月18日(火)、平成23年1月23日(日))

2-1. 土佐PAスマートICの利用実態

<実態> ① 累積交通量は10万台を突破。

- 平成22年11月、累積交通量が10万台を突破(平成22年12月末現在:約13万台)。
- 高速道路無料化社会実験開始後に利用交通量は大きく増加。

◆ 土佐PAスマートICの累積交通量の推移



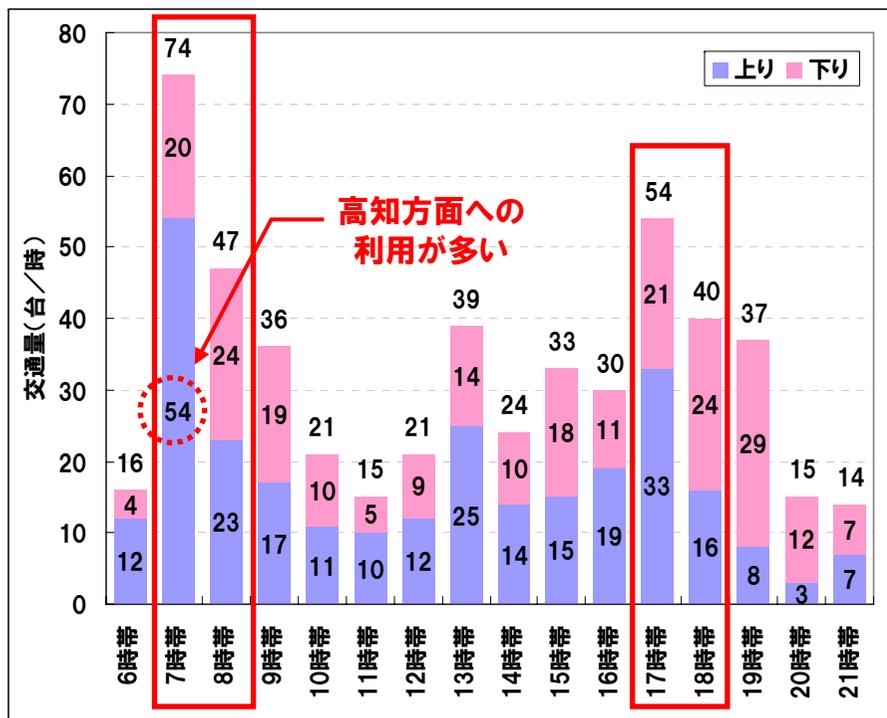
出典: NEXCO西日本データ

2-2. 土佐PAスマートICの利用実態

<実態> ② 平日は7時～8時、特に上りで利用が集中。

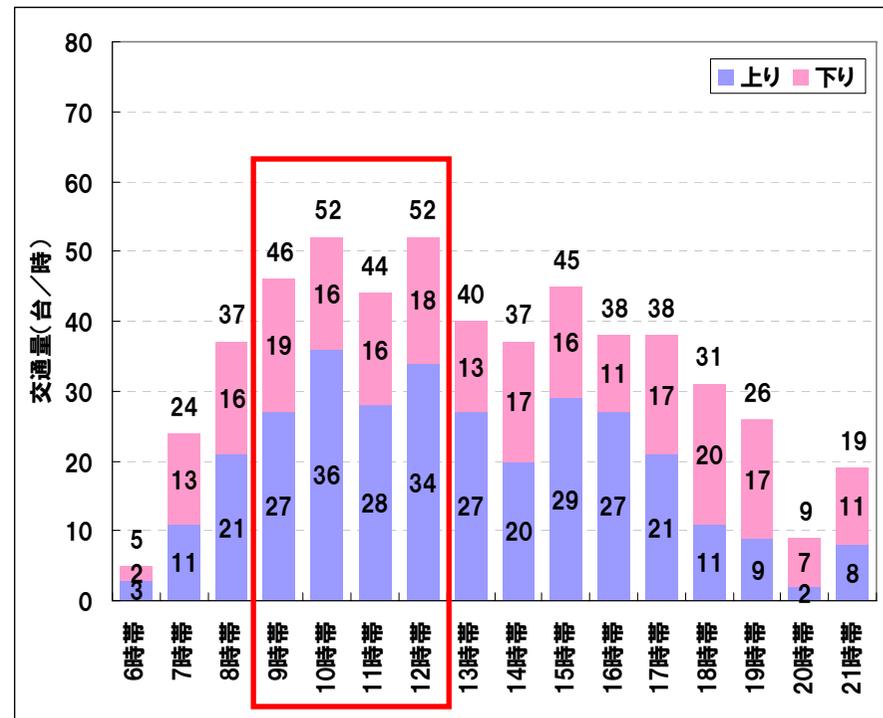
- 平日は、7時～8時及び17時～18時に交通量が集中。朝は上り方面(高知方面への入)、夕方は下り方面(高知方面からの出)の利用が多い。
- 休日は、9時～12時、上り方面(高知方面への入)への利用が多い。

◆時間帯別交通量【平日】



出典:土佐国道事務所 調査業務
交通量・車籍地調査(H23.1.18)

◆時間帯別交通量【休日】



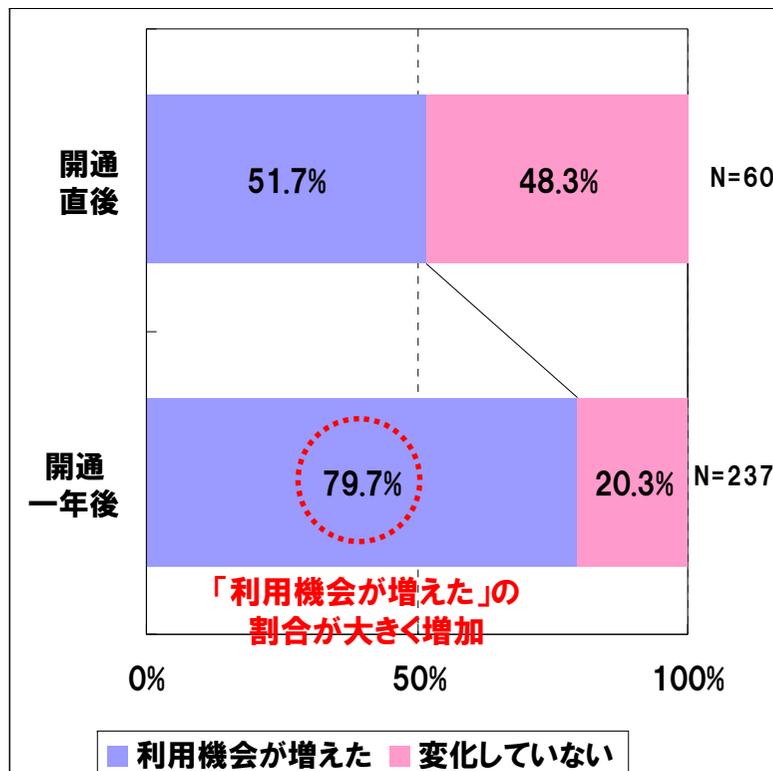
出典:土佐国道事務所 調査業務
交通量・車籍地調査(H23.1.23)

2-3. 土佐PAスマートICの利用実態

<実態> ③ 高速道路利用機会の増加、スマートIC利用台数の急増。

- 開通一年後では、「高速道路の利用機会の増加」の割合が大きく増加。
- 日平均交通量は、開通直後に比べ無料化社会実験開始後に急増。
- 利用者数は、無料化社会実験前後を問わず、増加傾向にある。

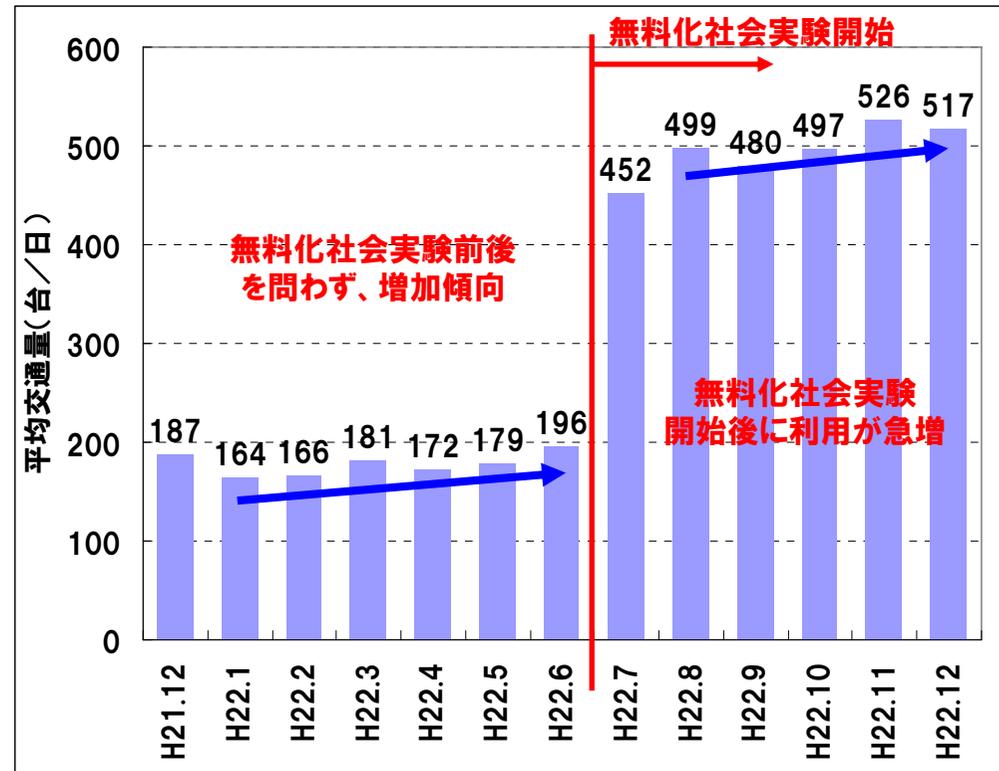
◆高速道路利用機会



出典：土佐国道事務所 調査業務

スマートIC利用者アンケート調査(H22.2、H23.1)

◆土佐PAスマートICの日平均交通量



出典：NEXCO西日本データ

3-1. 土佐PAスマートIC開通による効果

<効果>「救急医療」、「地域産業」、「日常生活」の面でメリット。

○「救急医療環境の向上」、「地域産業の活性化」、「日常生活の利便性向上」の面で効果が確認。

◆土佐PAスマートIC開通による効果

【救急医療】

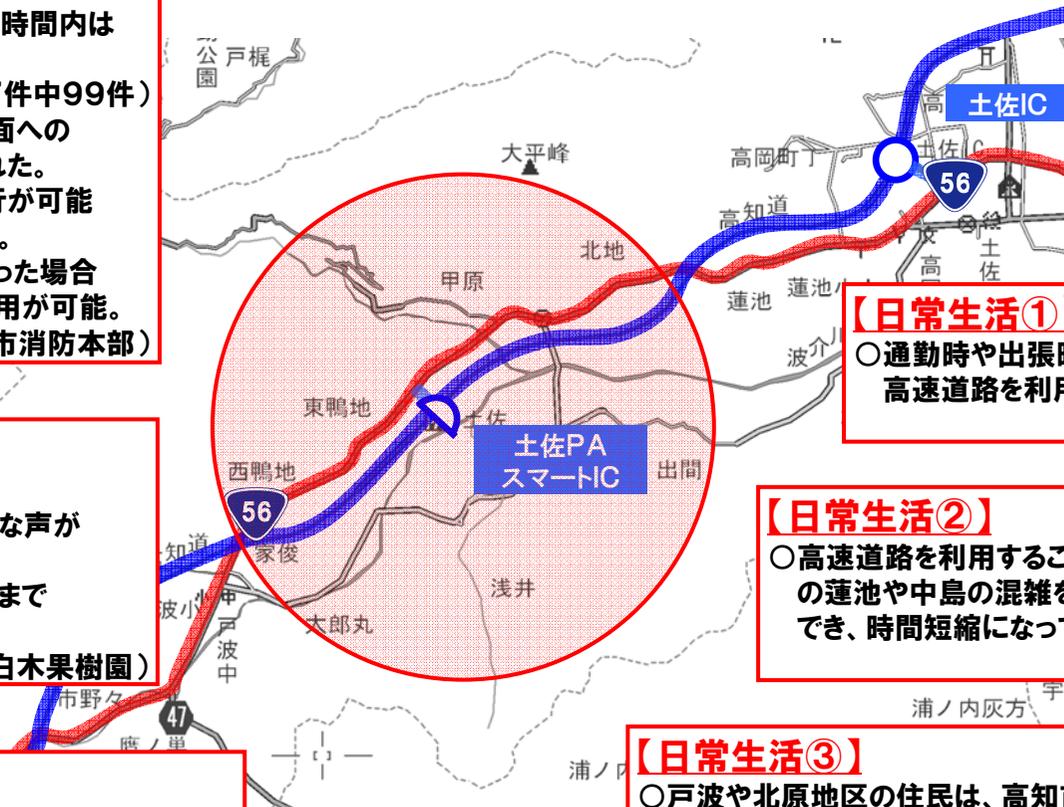
- 高知市方面への救急搬送時は、利用時間内はほぼスマートICを利用している。
(平成22年実績:197件中99件)
- スマートICを利用することで、高知方面への搬送時間が10~20分程度短縮された。
- 高速道路を利用することで、安定走行が可能となり、患者の負担軽減にもつながる。
- 国道56号が路面冠水で通行止になった場合でも、迂回することなく高速道路の利用が可能。
(土佐市消防本部)

【地域産業①】

- 県外から果樹園への来訪が増えた。
- スマートIC周辺の果樹園でも同じような声があがっている。
- 利用者からも、スマートICから果樹園まで近いことで便利との声をもらっている。
(白木果樹園)

【地域産業②】

- スマートIC開通直後は、開通前に比べて売り上げが1割程度増加した(ただし、無料化後は減少傾向)。
(押岡石油鷹ノ巣SS)



【日常生活①】

- 通勤時や出張時に、スマートICから、高速道路を利用するようになった。
(JAとさし戸波支所)

【日常生活②】

- 高速道路を利用することで、国道56号の蓮池や中島の混雑を回避することができ、時間短縮になっている。
(土佐市役所)

【日常生活③】

- 戸波や北原地区の住民は、高知市方面への通勤や買い物でスマートICを利用している。
(土佐市商工会)

出典:土佐国道事務所 調査業務